

スポーツYAMATO

第2節直前オーブン戦
城西大に惜敗

1試合目
新海
2試合目
小柳先制打



ついに小柳が覚醒か。オーブン戦2試合目に右中間へのタイムリーは粘った末に放った一打。初球から振っていき事ではない結果に繋がる。『振れー振れー小柳!』恐怖の8番打者が2節では大暴れの予感。

先発陣 大串・斉藤は万全

最終回の入り方に一考の余地あり

今シーズンの城西大学は絶好調で、早くもインカレ出場を決め、乗りに乗っている。リーグ第2節を直前に控え、対戦相手を想定した戦いをする上で格好の相手とオーブン戦を出来ることになった。試合前、車キャブテンは『リーグ前の準備は万端、あとは個々がやるべきことをきっちりやれば結果はついてくる』と言い切った。試合展開は2試合ともまったく同じ展開となり、結果は最終回到試合をひっくり返されるといふ後味の悪い結果となったが、裏を返せば、最終回を守り切れれば勝利を手にした。先発を任せられた1試合目の大串と2試合目の斉藤は最終回まで好調の城西大打線を完全に封じて試合を作れたのは2節に向けての好材料だ。一方打線は、城西大投手陣を攻めあぐねた感はないが、少ないチャンスをもものに得点すること出来た。1試合目の6回裏には新海雪奈がセンター。新海は4回裏にも左中間にツーベースヒットを打っており、絶好調だ。

新海の打席の前にチャンスを作る事が出来れば試合展開も変わってくるだろう。2試合目は7回表に注目の小柳結が右中間へタイムリースリーベースを放ち2点を奪った。小柳はこの日は、2死球を食らいまさに大当たりの日となったが、総合県大会に続き結果を出した小柳への期待が膨らむ狙い球を絞り、積極的に初球から振っていくことが小柳には求められる。今日の様なバッティングが出来ればチームにとって頼もしい存在になっていくはずだ。結果論にはなるが、2試合とも得点を挙げた次の最終回到先頭打者を出してしまったことが逆転を許すきっかけとなってしまう。集中力を欠いたことは決してないだろうが、そこまでできっちり抑えていた先発投手にどこか頼り切った安心してしまっているのか？心はどこかに隙を生んだことは無かったか？得点した次の回が大切とはよく言われるが、その事をよく思い知った2試合だろう。この経験がここで出来た事はいい収穫だ。

リーグ第2節展望

第1節はいわば格下相手に大量得点で2連勝を飾ったが、第2節は強豪・ライバルとの試合が続く。5月20日(金)に対戦するMORIは昨年、3部リーグを制し、前節は2連勝。元1部リーグ在籍者が主力に名を連ね、激戦は必死だ。エース中野(当時はビックカメラ所属)とは3年前の全日本総合で対戦して抑えられているだけに中野を攻略出来れば勝利も見えてくる。5月21日(土)はYKKと対戦する。北信越大会では必ず顔を合わせるとライバルチームだが、お互い苦手意識があり、試合は接戦の展開が予想される。力の差はないだけに勝ち星が欲しい相手だ。5月22日(日)は今シーズンからリーグ加入したVONDSと対戦する。波に乗ると怖いチームだけに早い回に先制点を取って優位な試合展開に持ち込みたい。大和電機の勝利の力ギを握るのは、先発投手を任せると大串、斉藤だ。城西大とのオーブン戦の様子は粘りの打球を期待したい。全試合ともYouTubeでライブ配信されるので是非ともご覧いただきたい。